

第195回 全経簿記上級

受験生のための
イチオシ
情報

試験後は大原へ

じっくり詳しい問題解説

参加無料

予約不要

全経簿記上級 問題解説会

本試験問題の解説を講義形式でじっくり分かりやすく行います。
解答の確認だけではなく試験の振り返りを行いたい方は必見です。
また、問題解説会終了後は学習相談やステップアッププランについても
講座担当講師が親身にご相談をお受けします。
参加は無料ですので、お気軽にご参加ください。

実施校・日時 持ち物 電卓、本試験問題

東京水道橋校 7/16(火) 19:00~20:30

詳細はこちら <https://www.o-hara.ac.jp/best/boki/z-sokuhou/>

日商簿記1級 対策講座 のご案内

効率的なカリキュラムで合格へと導く
学習経験者向けコース

1級直前対策パック(全30回)

受講料 79,700円～

教室通学は7/28より順次開講(東京水道橋校・梅田校)
Web 通信・映像通学はお申込後随時スタート!

詳細はこちら <https://www.o-hara.ac.jp/best/boki/course/grade1/chokuzen.html>

7月より
スタート!

資格の大原

就職の大原

■詳しい資料を無料でお届けします
インターネット資料請求 大原 バンフレット 検索
資料請求専用
フリーダイヤル 0120-597-008

■最新情報・講座のお申込みは
資格の大原 ホームページ
<https://www.o-hara.ac.jp/ph/1/>

全経上級解答速報

模範解答および採点基準は、学校法人大原学園が独自の見解で作成しており、試験機関による本試験の結果等について保証するものではありません。また、予告なしに内容を変更する場合があります。模範解答等の著作権は学校法人大原学園に帰属します。

第195回

全経上級商業簿記模範解答

問題1

問1 的中！大原直前模試4回

（単位：千円）

問題番号	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	売上高	89,700	売上原価	89,700 ⑤
(2)	利益剰余金期首残高	1,500	売上原価	1,500
	法人税等調整額	450	利益剰余金期首残高	450
	非支配株主利益	210	利益剰余金期首残高	210 ⑤
(3)	売上原価	1,800	商品	1,800
	繰延税金資産	540	法人税等調整額	540
	非支配株主持分	252	非支配株主利益	252 ⑤

問題2 的中！大原公開模試、直前模試1回～3回

損 益

（単位：千円）

借方科目	金額	貸方科目	金額
売上原価	[④ 698,120]	売上	[④ 925,900]
給与手当	148,000	*貸倒引当金繰入	[④ 2,403]
旅費交通費	[④ 2,925]	*有価証券運用損益	[④ 2,900]
支払手数料	[④ 7,000]	*固定資産売却損益	[④ 40]
支払地代	[2,400]		
*貸倒引当金繰入	[—]		
減価償却費	[④ 9,890]		
ソフトウェア償却	[④ 18,000]		
*有価証券運用損益	[—]		
*固定資産売却損益	[—]		
減損損失	[④ 10,500]		
法人税等	8,400		
繰越利益剰余金	[26,008]		
合 計	[931,243]	合 計	[931,243]

注意：*がついている科目について、金額が発生しない側には、[] 内に—（ダッシュ）を記入すること。

※ 別解：貸倒引当金繰入（貸方）→2,402千円、繰越利益剰余金→26,007千円

問題 1

問 2 的中！大原直前模試4回

(単位：千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金・預金	10,000	借入金	100,000
商品	27,000	資本金	120,000
土地	250,000	資本準備金	170,000
ブランド	100,000	自己株式	60,000
のれん	63,000		
			⑤

問題 2

閉鎖残高

(単位：千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	5,410	買掛金	91,800
当座預金	22,500	電子記録債務	17,280
クレジット売掛金	[④ 52,920]	仮受金	0
売掛金	93,852	仮受消費税等	0
電子記録債権	12,960	未払法人税等	[④ 1,900]
売買目的有価証券	[29,700]	未払消費税等	[④ 13,942]
商品	[④ 93,960]	貸倒引当金	[1,597]
未収入金	[④ 15]	建物減価償却累計額	[107,500]
仮払金	0	備品減価償却累計額	[④ 17,650]
仮払法人税等	0	商品評価引当金	[④ 3,580]
仮払消費税等	0	資本金	200,000
前払地代	[④ 1,800]	その他資本剰余金	20,250
建物	[④ 270,000]	利益準備金	50,000
備品	[25,000]	繰越利益剰余金	[④ 90,118]
ソフトウェア	[7,500]		
建設仮勘定	0		
合計	[615,617]	合計	[615,617]

※ 別解：貸倒引当金→1,598千円，繰越利益剰余金→90,117千円

全経上級会計学模範解答

問題1 的中!大原公開模試、直前模試1回~4回

	正誤	理 由
1.	× ②	営業損益計算の区分は、当該企業の営業活動から生ずる費用及び収益を記載して、営業利益を計算する。⑤
2.	× ②	未収収益は、一定の契約に従い、継続して役務の提供を行う場合、既に提供した役務に対していまだその対価の支払いを受けていないものをいう。⑤
3.	○ ②	
4.	× ②	破産更生債権等については、債権額から担保の処分見込額及び保証による回収見込額を減額し、その残額を貸倒見積高とする。⑤
5.	○ ②	
6.	× ②	トレーディング目的で保有する棚卸資産に係る損益は、原則として、純額で売上高に表示する。⑤
7.	○ ②	
8.	× ②	取得した財貨又はサービスの取得価額は、対価として用いられた自社の株式の契約日における公正な評価額若しくは取得した財貨又はサービスの公正な評価額のうち、いずれかより高い信頼性をもって測定可能な評価額で算定する。⑤
9.	○ ②	
10.	○ ②	

問題 2

問 1	用 語
(a)	株主資本 ②
(b)	利益準備金 ②
(c)	その他利益剰余金 ②
(d)	株主総会 ②
(e)	取締役会 ②
(f)	新株予約権 ②
(g)	連結子会社 ②
(h)	親会社持分 ②

問 2

① 自己株式処分差益 ③	② 資本金及び資本準備金減少差益 ③
--------------	--------------------

問 3

① その他有価証券評価差額金 ③	② 繰延ヘッジ損益 ③
------------------	-------------

別解：上記の他、「為替換算調整勘定」、「退職給付に係る調整累計額」等でも可。

問 4

「少数株主持分」から「非支配株主持分」に名称変更された理由としては、他の企業の議決権の過半数を所有していない株主であっても他の会社を支配し親会社となることがあり得るため、より正確な表現とするためである。 ③	
---	--

問題 3

(1)	① 売上原価の金額	(ア) 増 加	(イ) 減 少	(ウ) 不 変	③
	② 期末商品棚卸高	(ア) 増 加	(イ) 減 少	(ウ) 不 変	③
(2)	① 有価証券評価損の金額	(ア) 増 加	(イ) 減 少	(ウ) 不 変	③
	② その他有価証券の金額	(ア) 増 加	(イ) 減 少	(ウ) 不 変	③
(3)	① 減価償却費の金額	(ア) 増 加	(イ) 減 少	(ウ) 不 変	③
	② 備品の帳簿価額	(ア) 増 加	(イ) 減 少	(ウ) 不 変	③
(4)	① 減価償却費の金額	(ア) 増 加	(イ) 減 少	(ウ) 不 変	③
	② 本社建物の帳簿価額	(ア) 増 加	(イ) 減 少	(ウ) 不 変	③

全経上級工業簿記模範解答

問題1 **的中！大原直前模試1回**

問1 原料分の異常減損費 [⑤ 70,800] 円

加工費分の異常減損費 [⑤ 20,460] 円

問2 (借) (製 品) [3,384,000] (貸) (仕 掛 品) [3,384,000] ⑥

問3 原料分の正常減損費 [⑤ 72,000] 円

加工費分の正常減損費 [⑤ 19,800] 円

問4 月末仕掛品原価 [⑤ 321,180] 円

問5 (借) (製 品) [3,464,480] (貸) (仕 掛 品) [3,464,480] ⑥

問6 原料分の正常減損費 [⑤ 70,800] 円

加工費分の正常減損費 [⑤ 18,627] 円

問7 月末仕掛品原価 [⑤ 315,876] 円

問8 (借) (製 品) [3,469,784] (貸) (仕 掛 品) [3,469,784] ⑥

問題2 **的中！大原直前模試4回**

賃 金	
(諸 口) [③ 1,117,000]	(未 払 賃 金) [③ 235,000]
(未 払 賃 金) [③ 227,000]	(仕 掛 品) [③ 794,600]
() []	(製 造 間 接 費) [③ 295,730]
() []	(賃 率 差 異) [③ 18,670]
[1,344,000]	[1,344,000]

問題3 **的中！大原直前模試1回**

問1

連結原価の配賦額 (単位：円)

連 産 品 X	連 産 品 Y	連 産 品 Z
③ 2,400,000	③ 1,500,000	③ 750,000

問2

連結原価の配賦額 (単位：円)

連 産 品 X	連 産 品 Y	連 産 品 Z
③ 2,475,000	③ 1,450,000	③ 725,000

問3

連産品の原価計算においては通常の価値移転的計算を行うことが不可能であるため、

価値回収的計算による連結原価の配賦が認められている。⑥

全経上級原価計算模範解答

問題 1 的中！大原公開模試

問 1

予防コストの割合 [④ 19] % 評価コストの割合 [④ 21] %

内部失敗コストの割合 [④ 34] % 外部失敗コストの割合 [④ 26] %

別解：予防コスト 17%、評価コスト 23%

問 2

予防コストの割合 [④ 34] % 評価コストの割合 [④ 15] %

内部失敗コストの割合 [④ 21] % 外部失敗コストの割合 [④ 30] %

別解：予防コスト 31%、評価コスト 18%

問 3

前期よりも品質管理活動に力を入れた結果、品質コスト総額に変化はないものの、品質コスト総額に占める品質不適合コストの割合は減少した。⑤

問 4

機会損失を含めた場合の前期の品質コスト総額の増加割合 [④ 52] %

機会損失を含めた場合の当期の品質コスト総額の増加割合 [④ 60] %

問 5

品質不適合コストの割合は減少したが外部失敗コストは増加した。そのため、機会損失を考慮した品質コスト総額も増加した。よって、品質管理活動の成果は得られていないといえる。⑤

問題2 **的中！大原直前模試2回**

問1

企業の投下資本1円あたりに要求される利益または利益率を意味する。⑤

問2

名 称 (④ 税引後加重平均資本コスト) 数 値 [④ 6] %

問3

1 年度 [② 0.943] 2 年度 [② 0.890]

3 年度 [② 0.840] 4 年度 [② 0.792]

問4

パターンAのもとでの正味現在価値 [④ 1,272,785] 円

パターンBのもとでの正味現在価値 [④ 1,378,415] 円

問5

資本コストは、正味現在価値法において将来キャッシュ・フローの時間価値を考慮し、現在価値を
求めるための割引率としての役割がある。⑤

問題3 **的中！大原直前模試4回**

問1

① [④ 4,450,000] 円 ② [④ 4,100,000] 円

問2

① [④ 1,280] 円 ② [④ 320] 円